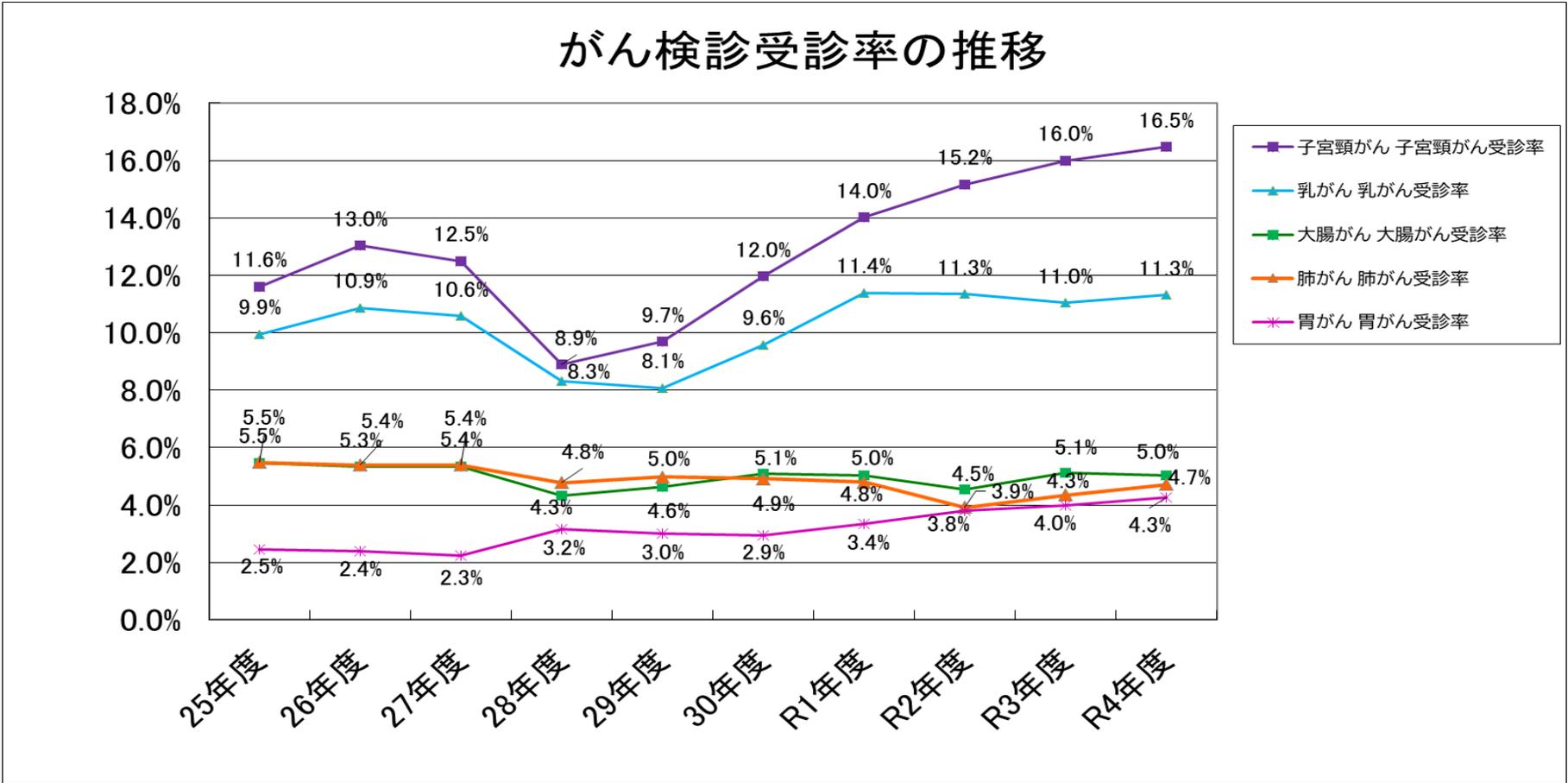


# がん検診受診率向上の 取組について

令和5年11月  
熊本市健康づくり推進課

# 1 本市のがん検診について(受診率の推移)

## 1-1 がん検診受診率の推移



がん検診の受診率は、熊本地震により平成28年度に大幅に低下。  
また、令和2年度の新型コロナの影響による低下も見られたが、個別受診勧奨等の取組により近年は横ばいまたは上昇傾向にある。

# 1 本市のがん検診について(受診率目標と取組)

## 1-2 受診率目標と取組

目標：第7次総合計画目標値  
 期間：H29年度～ R5 年度

### がん検診受診率向上



がん検診受診率目標は、7次総合計画の前期計画の検証値とし、がんごとに受診率目標値を定めている。受診率向上に向けた取組については、下記の市民への周知啓発から効果的な検診方法導入まで5本の柱で実施している。

検証指標	目標値
	R5
肺がん検診受診率	7.1%
胃がん検診受診率	5.1%
大腸がん検診受診率	7.1%
乳がん検診受診率	11.8%
子宮頸がん検診受診率	14.4%

# 1 本市のがん検診について(受診率の向上)

## 1-3 受診率向上の主な取組

	開始年度	取組内容
1	H29年度	冬期における大腸がん郵送検診の導入
2	H29年度	受診勧奨の拡充(がんのハイリスク世代等)
3	H30年度	胃がん検診における内視鏡検査導入
4	R1年度	70歳以上のがん検診自己負担金無料化
5	R3年度	胃がんリスク検査の導入
6	R3年度	大腸がん郵送検診の期間拡大(11月~2月⇒10月~3月)
7	R4年度	肺がん検診における個別検診の導入

# 2 肺がん検診について(個別検診の概要)

## 2-1 肺がん個別検診の概要

開始日	令和5年2月1日
検診対象者	年度内に40歳以上になる方
実施医療機関	市内または近隣の医療機関 約130か所
検査内容	胸部エックス線検査(必要に応じて喀痰細胞診)
自己負担金	500円(喀痰細胞診が必要な場合は別途500円)

※70歳以上の方、市民税非課税世帯の方、生活保護受給世帯の方は  
証明書の提示で無料

受診方法 実施医療機関へ直接電話予約

**肺がん検診が身近な医療機関で受診できるようになり、便利になりました！  
年に1回ぜひ受診してください！**

**熊本市医師会理事(緒方消化器内科) 緒方一朗先生からのコメント**



肺がんは日本人のがんによる死亡原因第1位のがんです。喫煙との関係が非常に深いのですが、たばこを吸わない人でも発症することがあります。肺がんは当初自覚症状が出にくい場合が多く、症状が出てからでは予後が悪い場合が多いと言われています。40歳以上の方は、1年に1回検診を受けることが大切です。

令和5年2月から熊本市内の多くの病院や診療所でも、熊本市の肺がん検診を受けることができるようになりました。特定健診をはじめ、大腸がん検診や胃がんの内視鏡検診なども個別に医療機関で受診できるようになっています。同時に受診することで、更に利便性が上がると思います。市が実施するがん検診は、厚生労働省の指針に基づいて行われており、有効性の確立した検診方法です。自分や周りの大切な人のためにも、検診を習慣づけていきましょう。

市政だより4月号折込版



**熊本市**  
Kumamoto City

**肺がん・結核検診が  
指定医療機関で受診できます**

**当院で受診  
いただけます**

- 対象: 年度内に40歳以上になる熊本市民
- 検診内容: 胸部エックス線検査(必要に応じて喀痰細胞診)
- 料金: 500円(肺がん細胞診が必要な場合は別途500円)

※検診をご希望の方は受付へお申し付けください。【70歳以上の方、市民税非課税世帯の方、生活保護受給世帯の方は無料】

肺がん・結核検診について

肺がんは日本人のがんによる死亡原因第1位のがんです。喫煙との関係が非常に深いのですが、たばこを吸わない人でも発症することがあります。肺がんは当初自覚症状が出にくい場合が多く、症状が出てからでは予後が悪い場合が多いと言われています。40歳以上の方は、1年に1回検診を受けることが大切です。市が実施するがん検診は、厚生労働省の指針に基づいて行われており、有効性の確立した検診方法です。自分や周りの大切な人のためにも、検診を習慣づけていきましょう。

お問い合わせ  
●熊本市コールセンターのこまるコール TEL 096-334-1500(受付時間10時~18時)  
●熊本市健康づくり推進課 TEL 096-361-2145  
実施医療機関など詳しくは、熊本市ホームページ / 熊本市 がん検診 検索

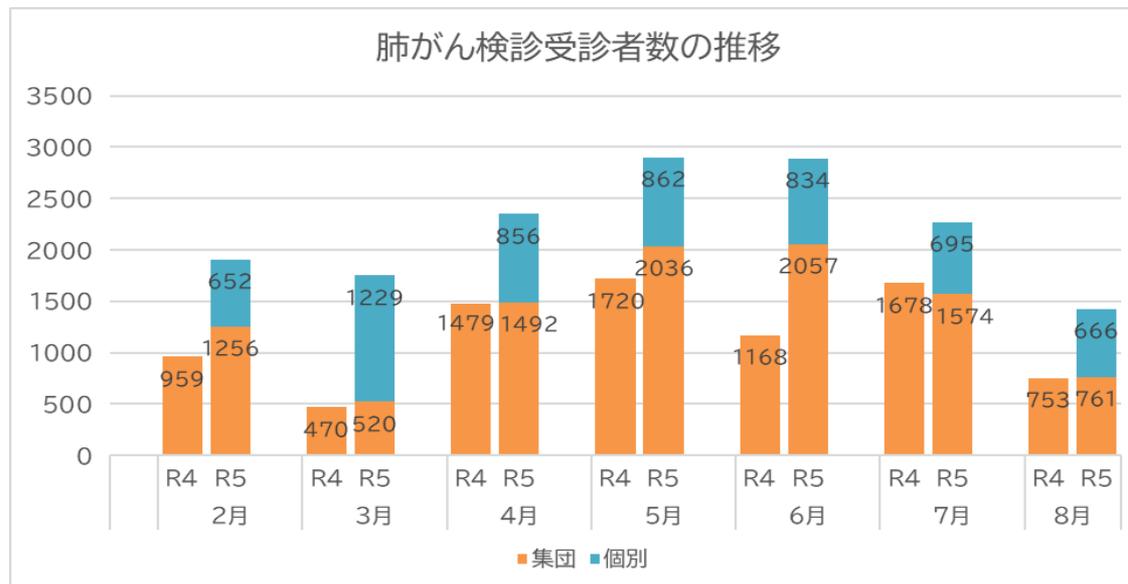
広報ポスター

## 2 肺がん検診について(個別検診の受診者数)

### 2-2 受診者数の推移

○個別検診の開始により、受診者数は7か月間平均で前年同月の2.1倍増加しており、個別検診が順調に伸びたことで肺がん検診全体の受診者数増につながっている。

○巡回車による集団検診については、前年度からやや増加しながら推移しており、コロナ禍を経て受診者数が増えてきている。



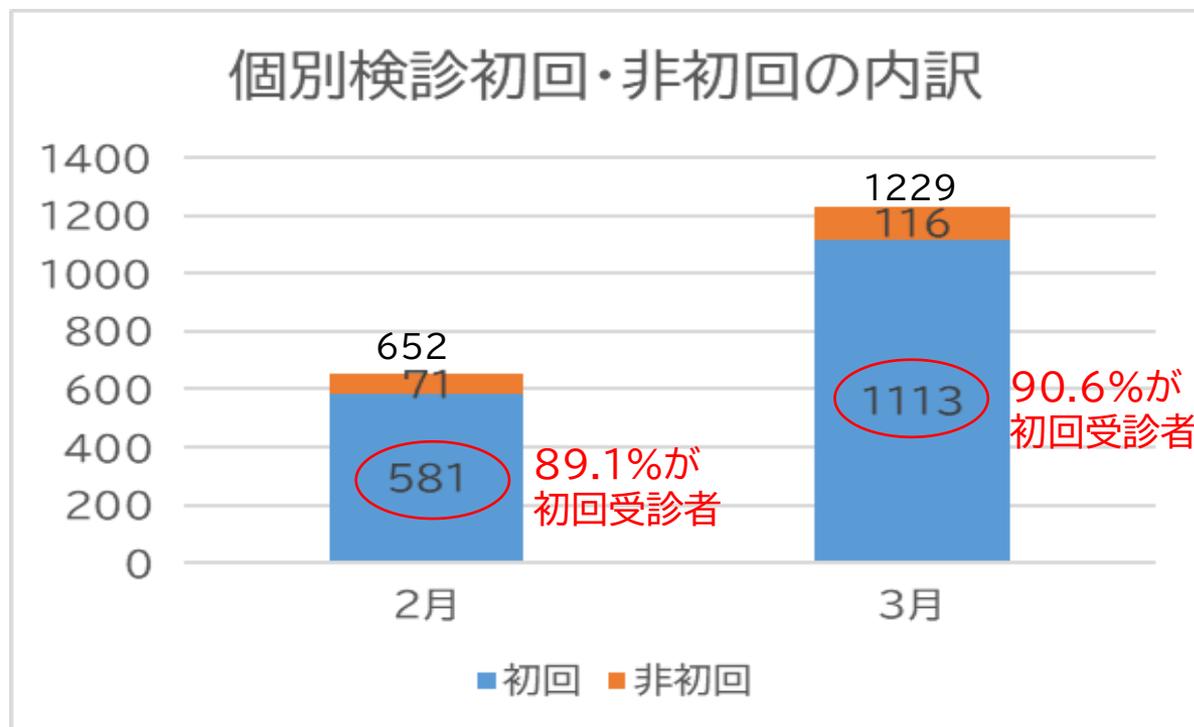
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
R4年(A)	959	470	1,479	1,720	1,168	1,678	753	1,175
R5年(B)	1,908	1,749	2,348	2,898	2,891	2,269	1,427	2,213
伸び率(B/A)	1.99	3.72	1.59	1.68	2.48	1.35	1.90	2.10

## 2 肺がん検診について(個別検診の受診状況)

### 2-3 受診者の傾向

○2・3月の個別検診受診者を分析すると、初回受診者が約9割を占め、これまで市の検診を受診していなかった新規の方の受診につなげることができた。

○引き続き、肺がん検診の受診とともに特定健診・胃がん・大腸がん検診等とセットで受診いただけるよう周知していく。

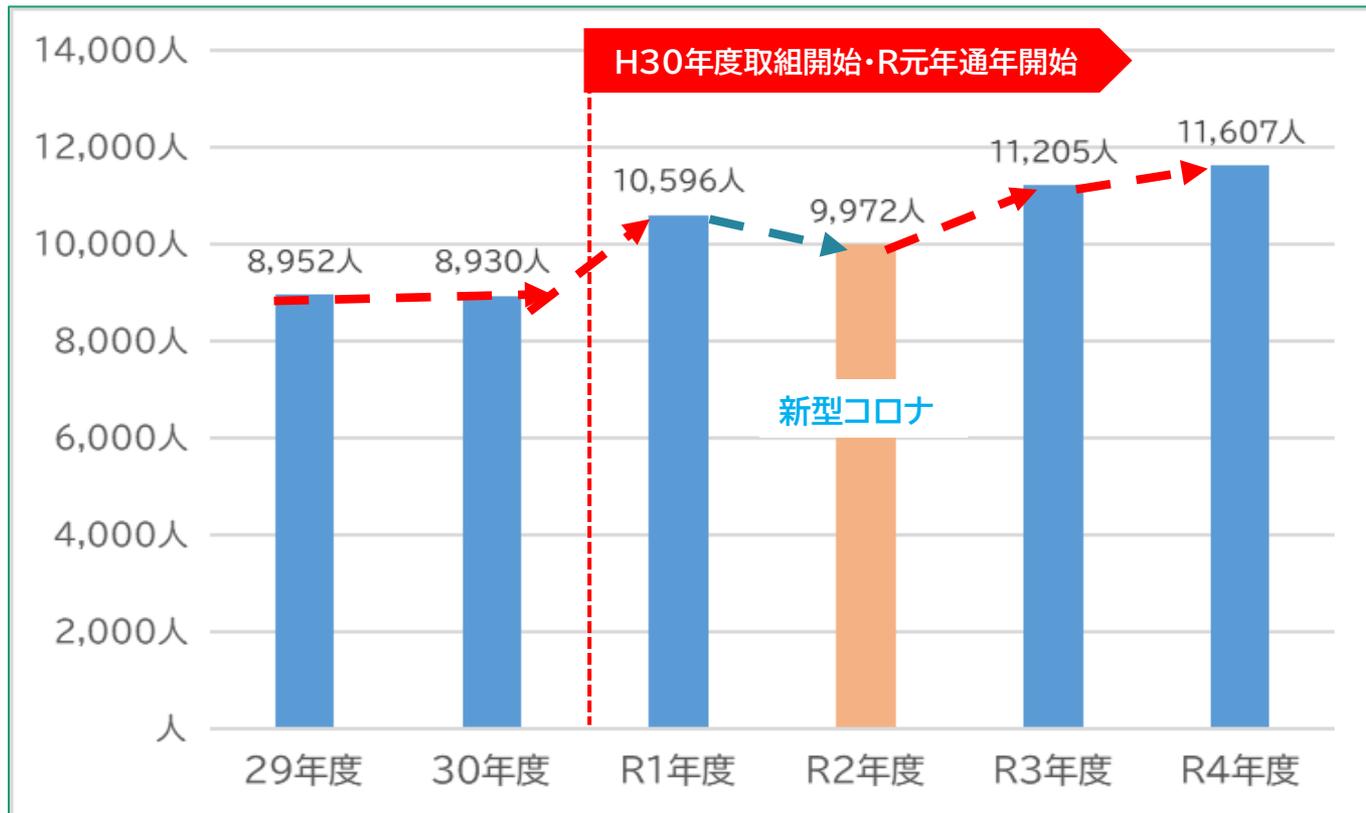


初回:過去3年間受診歴がなかった者

### 3 胃がん検診について(内視鏡検査の導入状況)

#### 3-1 胃がん検診における内視鏡検査導入(H30年度～)

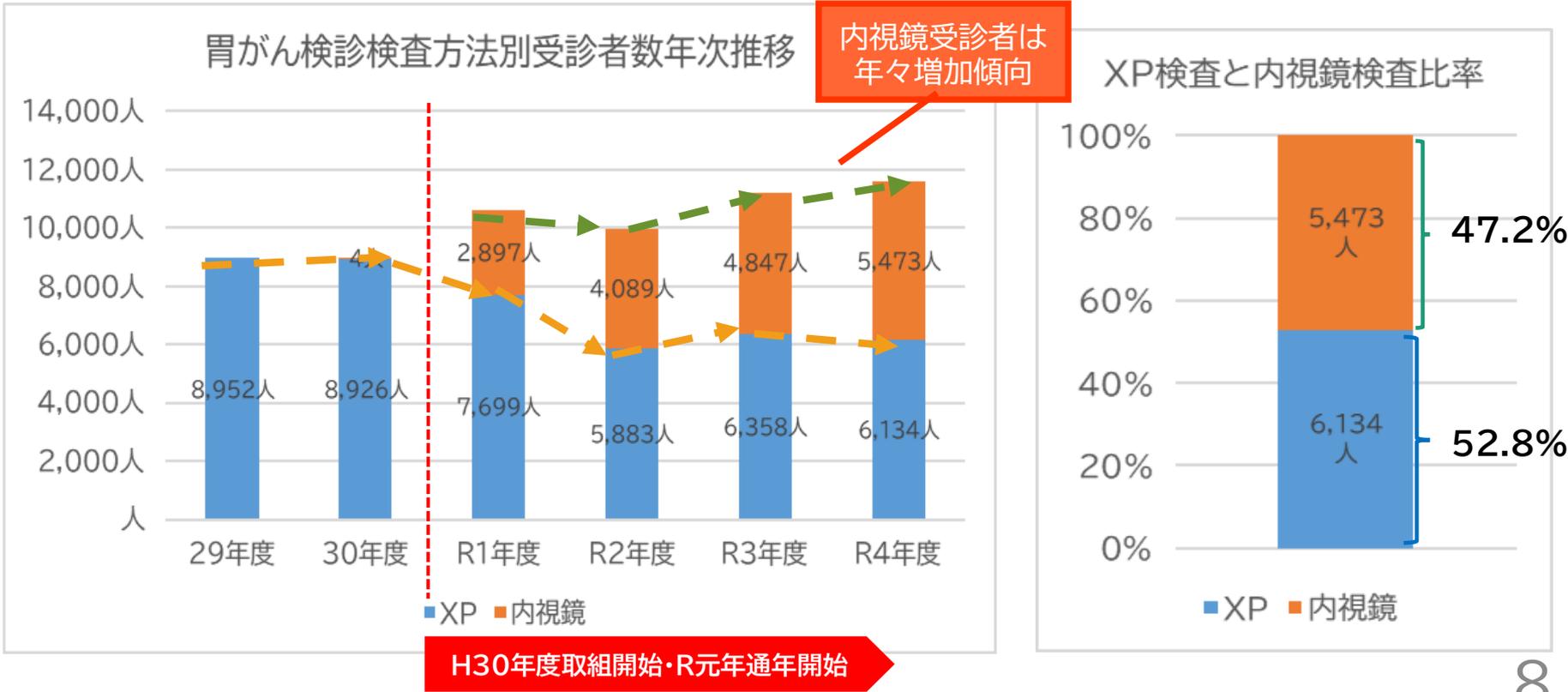
○胃がん検診の受診者数を年次比較では平成30年度までは横ばい傾向であったが、胃内視鏡検査本格導入後の令和元年度以降は増加した。令和2年度はコロナ禍の影響もあり減少したが、R3年度以降は再び増加傾向に転じている。



### 3 胃がん検診について(内視鏡検査の受診状況)

#### 3-2 胃がん検診内視鏡検査の受診傾向について

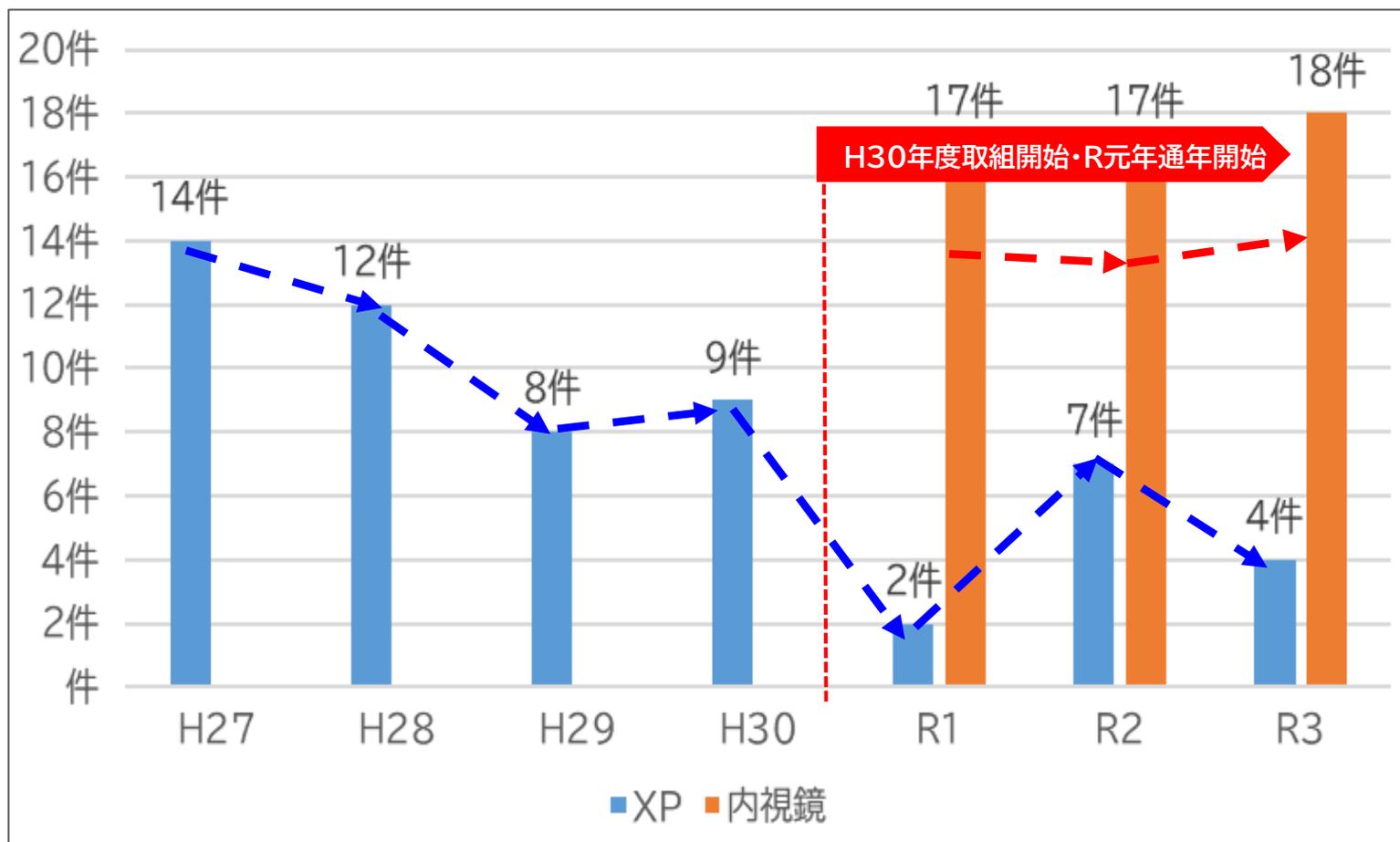
○胃がん検診内視鏡検査を開始した平成30年以降、内視鏡検査の受診者はコロナ禍にあっても、増加を続けており、令和4年度には胃がん検診受診者全体の47.2%を占めている。近い将来にはエックス線検査と内視鏡検査の受診割合が逆転する可能性がある。



### 3 胃がん検診について(内視鏡検査導入後の状況)

#### 3-3 胃がん検診検査方法別のがん発見者数について

○胃がん検診のエックス線検査、内視鏡検査ごとのがんの発見者数を比較すると明らかに内視鏡検査による受診者数が多い状況にある。



### 3 胃がん検診について(内視鏡検査導入後の状況)

#### 3-4 胃がん検診によるがん発見者数・早期がん発見率について

○胃がん検診内視鏡検査を本格導入した令和元年度以降、胃がん発見者数、早期がん発見数は増加傾向であり、早期がん発見率も高くなっている。

胃がん発見者数と早期がん発見率

	がん発見者数			早期がん発見者数			早期発見率
	内視鏡	X線	合計	内視鏡	X線	合計	
H28		12	12		7	7	58.3%
H29		8	8		2	2	25.0%
H30	0	9	9	0	6	6	66.7%
R1	17	2	19	13	1	14	73.7%
R2	17	7	24	13	5	18	75.0%
R3	18	4	22	15	2	17	77.3%

※「早期がん発見数」は「がん発見数」のうち数

## 3 胃がん検診について(胃がんリスク検査)

### 3-5 胃がんリスク検査の概要

○ピロリ菌は、胃潰瘍・十二指腸潰瘍・慢性萎縮性胃炎・胃がんの発生と深い関係のある菌であり、検査によりピロリ菌の有無を調べることで、胃がんになる危険性を判定する。

開始日:令和3年10月1日

実施医療機関:市内または近隣の医療機関 約250か所

対象者:年度内に40歳~49歳になる方

検査内容:採血による血液検査



	受診者数	うち陽性者数 ( )内は陽性者の割合
令和3年度	729人	145人 (19.9%)
令和4年度	684人	110人 (16.1%)

## 4 大腸がん検診について(郵送検診の導入状況)

### 4-1 大腸がん郵送検診の取組について

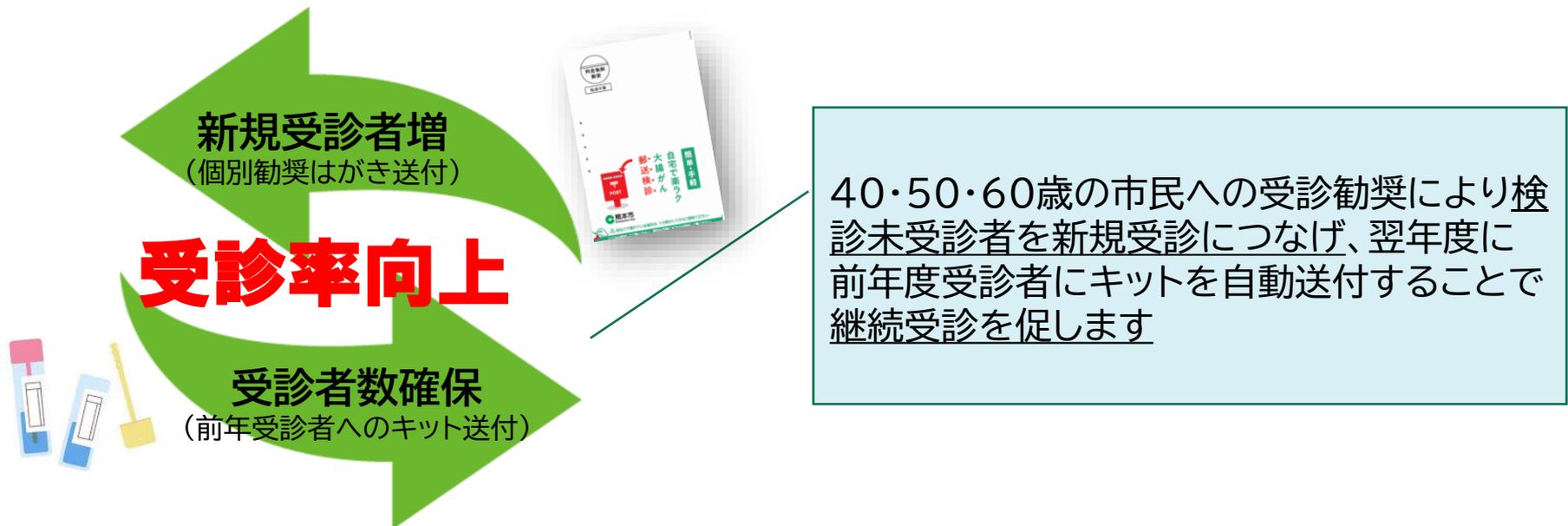
H29年度 大腸がん郵送検診開始

H30年度 回覧版(約3万枚)による広報(~R1年度まで)

R2年度 40・50・60歳の市民への個別受診勧奨(約28,000人)

R3年度~ 前年度に郵送検診を受診者した方へキット送付

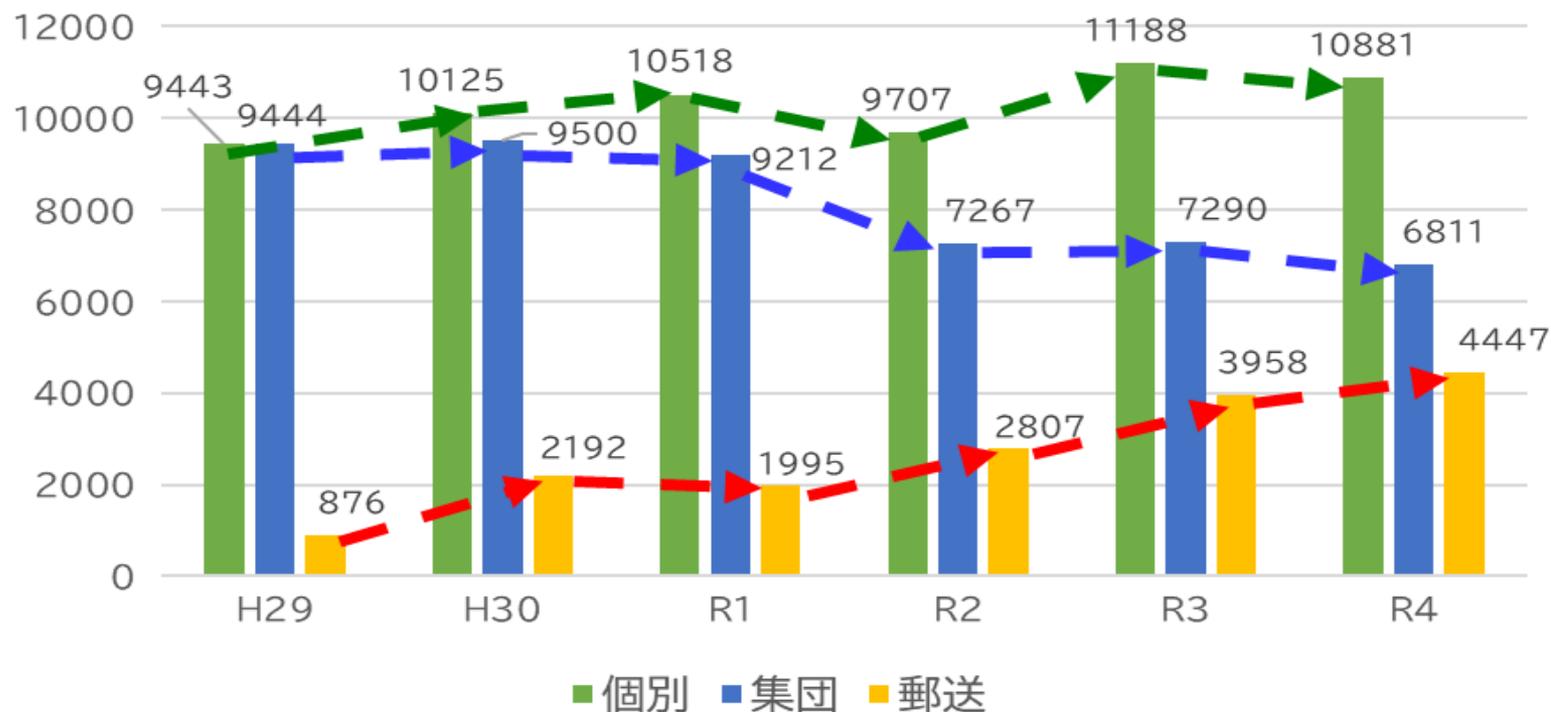
(R3年度約2,800人、R4年度約4,000人)



## 4 大腸がん検診について(郵送検診導入後の状況)

### 4-2 がん検診受診者数の内訳

○大腸がん検診全体の受診者数については、コロナによる受診控えもありR2年度にいったん減少したものの、自宅にいながら検査できる郵送検診は コロナ禍においても順調に増加しており、R4年度は開始年度(H29年度)の約5倍にあたる4,447名が受診した。

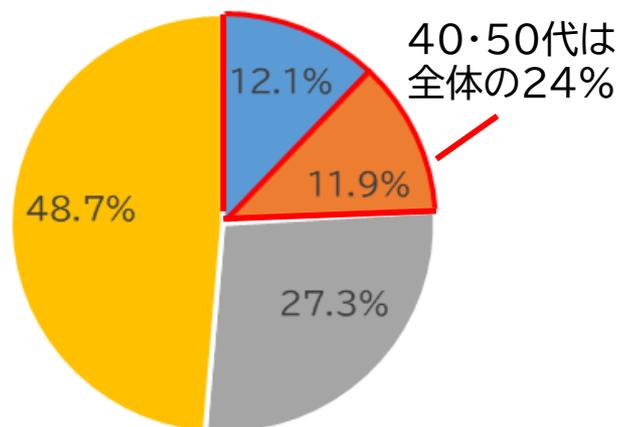


## 4 大腸がん検診について(郵送検診導入後の状況)

### 4-3 郵送検診の受診傾向について

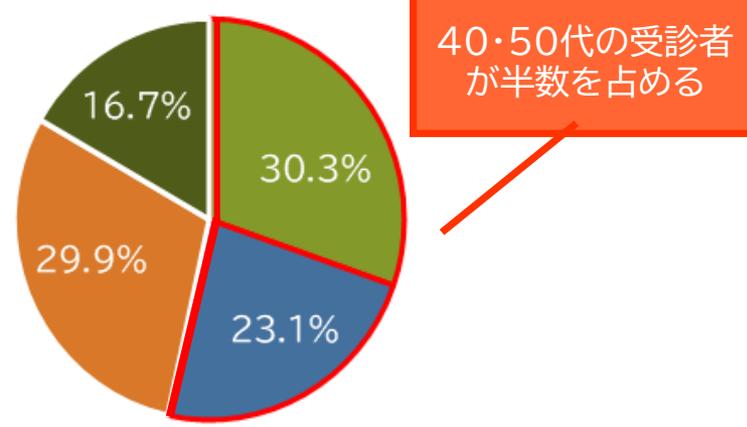
○大腸がん検診全体で見ると、比較的若い40・50代の受診者は全体の24%にとどまるが、郵送検診では約半数を占め、働き盛り・子育て世代の受診につながっている。また、アンケート(※)によると郵送検診受診者のうち約半数は、前年度申込者に自動送付された検査キットにより受診したと回答している。 ※R4年度郵送検診受診者へのアンケート

がん検診受診者全体の年代別内訳



■40代 ■50代 ■60代 ■70代以上

郵送検診受診者の年代別内訳

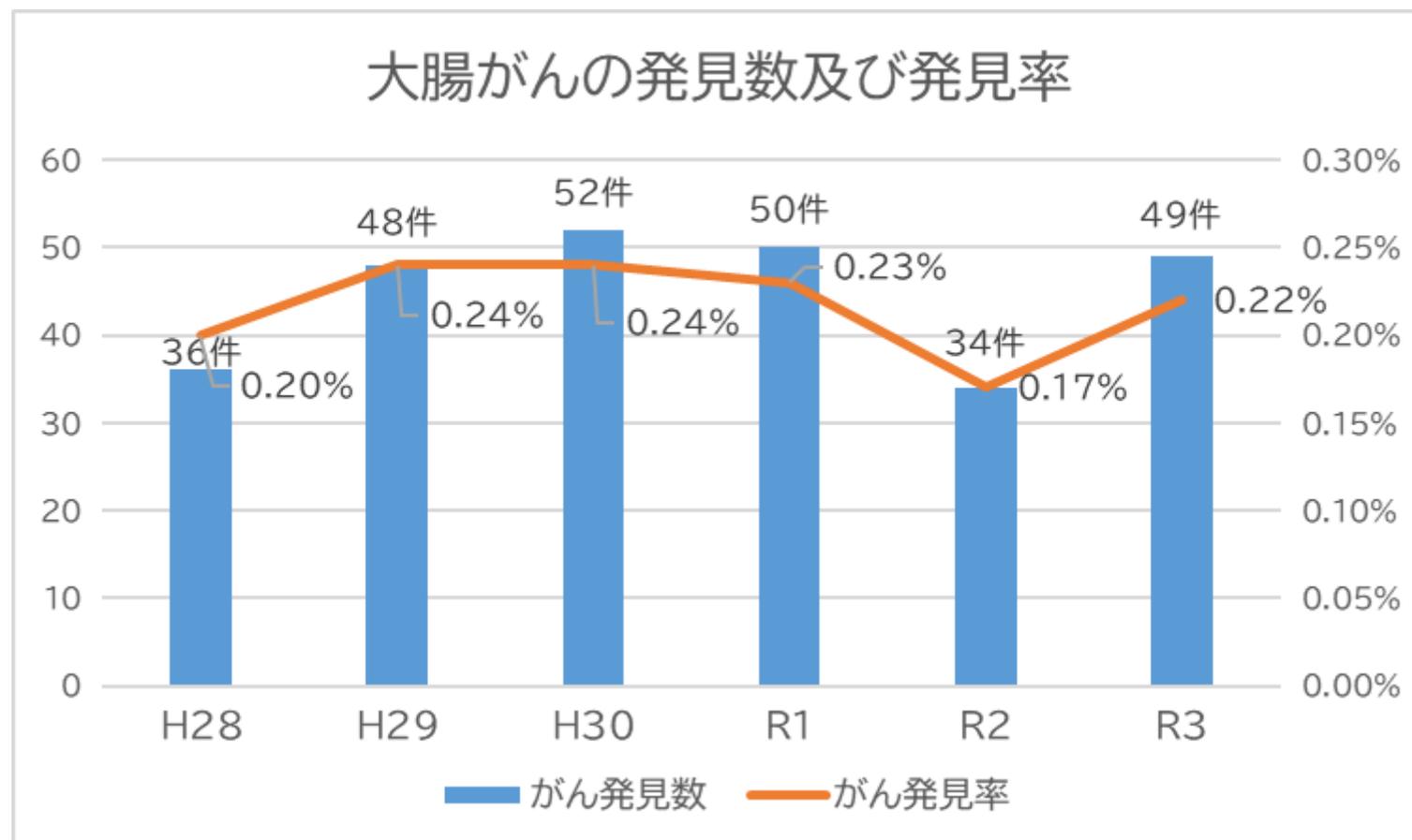


■40代 ■50代 ■60代 ■70代以上

## 4 大腸がん検診について(郵送検診導入後の状況)

### 4-4 大腸がん検診におけるがん発見率について

○大腸がんの発見数は地震やコロナ禍の影響を受けた年を除き、毎年50件ほどで推移している。



# 5 乳がん・子宮頸がん検診について(個別受診勧奨の実施)

## 5-1 受診勧奨の取組(がん検診ハイリスク者など)(H29年度～)

罹患率の高い世代(子宮頸がん:20～30代、乳がん+子宮頸がん:40～50代)

の女性に対し受診勧奨圧着はがきで検診内容等を分かりやすく伝える個別受診勧奨を実施

受診時勧奨の拡充状況

受診勧奨区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一定年齢到達者									
1	新規対象者(20歳)	3,700人							
2	新規対象者(40歳)	10,300人							
3	退職者世代(62、66、68、70歳)	31,100人	31,000人	29,500人	39,400人	38,100人	37,600人	36,400人	35,900人
4	節目年齢(40・46・50歳)		31,000人						
5	節目年齢(40・50・60歳)			29,000人	28,600人	28,000人	27,900人	28,800人	29,700人
6	無料クーポン(子宮がん:21歳)	3,700人	3,700人	3,800人	3,700人	3,600人	3,800人	3,700人	3,700人
7	無料クーポン(乳がん:41歳)	5,600人	5,200人	5,200人	5,100人	5,000人	4,700人	4,800人	4,600人
8	無料クーポン再勧奨(子宮がん:21歳)		3,700人	3,800人	3,700人	3,600人			
9	無料クーポン再勧奨(乳がん:41歳)		5,200人	5,200人	5,100人	5,000人			
10	胃がんリスク検査対象者(41・45・49歳)						30,700人	30,700人	29,900人
ハイリスク層									
1	熊本地震で受診機会を逸した者		33,000人						
2	子宮頸がんハイリスク層(20・26・30・36歳)		17,000人						
3	乳がんハイリスク層(42～48歳、52～58歳)			40,300人	41,700人	40,500人	40,600人	40,100人	38,100人
4	子宮頸がんハイリスク層(20～38歳)			41,100人	40,800人	40,000人	40,000人	39,000人	40,900人
5	次年度乳がんハイリスク層(42～48歳、52～58歳)			41,700人	40,900人	41,600人			
6	次年度子宮頸がんハイリスク層(20～38歳)			41,000人	40,400人	39,600人			
7	次年度乳がんハイリスク層(40～58歳、R5年度から～68歳)						51,600人	51,500人	73,700人
8	次年度子宮頸がんハイリスク層(20～38歳)						39,400人	38,300人	38,000人
9	郵送検診前年度受診者キット送付						2,000人	4,300人	4,400人
合計		54,400人	129,800人	240,600人	249,400人	245,000人	276,300人	273,300人	298,900人
拡充割合(平成28年度比)		—	139%	342%	358%	350%	408%	402%	449%

# 5 乳がん・子宮頸がん検診について(個別受診勧奨の内容)

## ○次年度子宮頸がんハイリスク者受診勧奨圧着はがき(表) 対象:R5年度末年齢20~38歳、R5.3月末発送

料金後納  
郵便

20・30代が特に子宮頸がんにかかりやすい年代であることを掲載

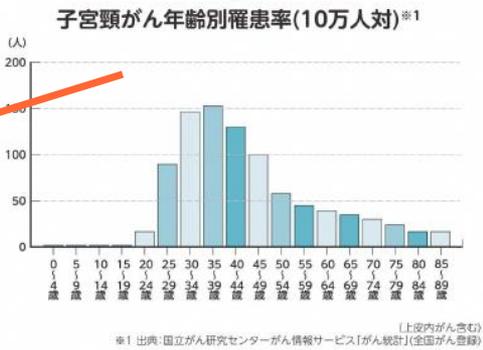
20歳からの大切な子宮頸がん検診  
中々大切なお知らせがあります。必ず開けてご覧ください。

熊本市から大切な子宮頸がん検診のお知らせです  
 <このはがきに関するお問い合わせ>  
 ひごまるコール ☎096-334-1500 (専門的な問い合わせを除く)  
 健康づくり推進課 ☎096-328-2145

**熊本市** 発行  
 Kumamoto City 熊本市役所 健康づくり推進課  
 熊本市中央区手取本町1番1号

万一、このハガキが濡っている場合は、十分に乾かしてから矢印方向にゆっくりはがして中をご覧ください。

子宮頸がんは、20~30代女性で増加しているがんです。



「特に異常がないから大丈夫」そう思っていますか?  
 子宮頸がんは感染から発症まで、平均5~10年かかり、  
 早期には自覚症状がないため、  
 「異常を感じたら」では手遅れになる場合があります。

子宮頸がん検診ってどんな検査?

検査時間は15分程度。痛みはそれほどありません。

- 1 医師による診察
- 2 細胞診

大きめの綿棒などで子宮の入り口を軽くこすって細胞を採取。



子宮頸がんは、早期のうちに治療すれば、90%以上が治癒します。\*2



子宮頸がんが進行すると、子宮摘出手術が必要となる場合もありますが、早期のうちに治療すれば、子宮を摘出せずに治療できるため、妊娠・出産も可能です。  
 検診を受け早期発見・早期治療することにより、がんになるリスクや死亡リスクが減少します。

\*2 参考:全国がんセンター協議会 全がん協部位別臨床病理別5年相対生存率(2011~2013年診断症例)

# 5 乳がん・子宮頸がん検診について(個別受診勧奨の内容)

## ○次年度子宮頸がんハイリスク者受診勧奨圧着はがき(裏)

### 子宮頸がん検診の流れ

**受診期間** 令和5年4月1日～令和6年3月31日まで

例年、受診期限が近づく大変混み合います。お早めにご予約・ご受診ください。

**Step① 実施医療機関に直接予約**

右のリストの受診したい医療機関へ電話します。予約の際は「熊本市のがん検診を受診希望」とお伝えください!

**Step② 受診**

受診当日は、身分証明書(運転免許証など)を忘れずにお持ちください。(がん検診では受診券はありません) 受診後、自己負担金を支払います。

**【自己負担金】1,200円**

結果は、約4週間後に郵送されます。

子宮頸がん検診の検査費用 約6,500円

市のがん検診を利用すると半額以下に

5,300円! 節約できる!

自己負担金 1,200円

生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の方は、一定の証明書の提示で自己負担金が無料になります。詳しくは市ホームページをご確認ください。

### 令和5年度(2023年度)子宮頸がん検診 実施医療機関一覧

管内	町名	医療機関名	電話番号
中央区	大江	くまもと森都総合病院	364-9090
		田代産婦人科医院	362-1414
	大江本町	伊井産婦人科病院	364-4003
	帯山	さかぐち女性のクリニック	382-3600
		聖アンナレディースクリニック	381-9670
	神水	くわみず病院健診センター	381-2630
	子飼本町	よしむら産婦人科皮ふ科クリニック	345-8300
	城東町	フォーシーズンズレディースクリニック	278-7870
	新町	福田病院	322-2995
	東区	水前寺	森川レディースクリニック
八木産婦人科医院			383-2311
水道町		ソフィアレディースクリニック水道町	322-2996
平成		メディメッセ桜十字クリニック	378-1182
南熊本		ゆのはら産婦人科医院	372-1110
南千反畑町		JA熊本厚生連	328-1262
南坪井町		あつじレディースクリニック	356-9325
神水本町		ART女性クリニック	360-3670
桜木		桑原産科婦人科医院	365-4103
新生		いんでレディースクリニック	367-2333
隣接市	月出	長嶺そよかぜクリニック	285-4121
	戸島西	ウィメンズクリニックグリーンヒル	360-5511
	長嶺南	日本赤十字社 熊本健康管理センター	387-6710
	東町	熊本県総合保健センター	

管内	町名	医療機関名	電話番号
西区	春日	みやはらレディースクリニック	325-1107
	島崎	慈恵病院	355-6131
	二本木	すえなが婦人科・産科クリニック	352-7280
南区	出仲間	前田産婦人科医院	378-8010
	田迎	産科・婦人科うしじまクリニック	379-2727
	八幡	うちの産婦人科	288-5566
熊本パースクリニック		320-2334	
北区	植木町	清田産婦人科医院	273-4111
	清水新地	高橋レディースクリニック	348-7575
	鶴羽田	北熊本井上産婦人科医院	345-3911
隣接市	室園町	朝日野総合病院	341-5075
	宇城市	まつばせレディースクリニック	0964-34-0303
	宇土市	田山産科婦人科医院	0964-22-5522
菊陽町	菊陽レディースクリニック	213-5656	

子宮頸がん検診についてより詳しく知りたい方は、熊本市ホームページへ。

●一部地域で集団健診も行っています。



市の子宮頸がん検診を受診すると5,300円お得であることを掲載

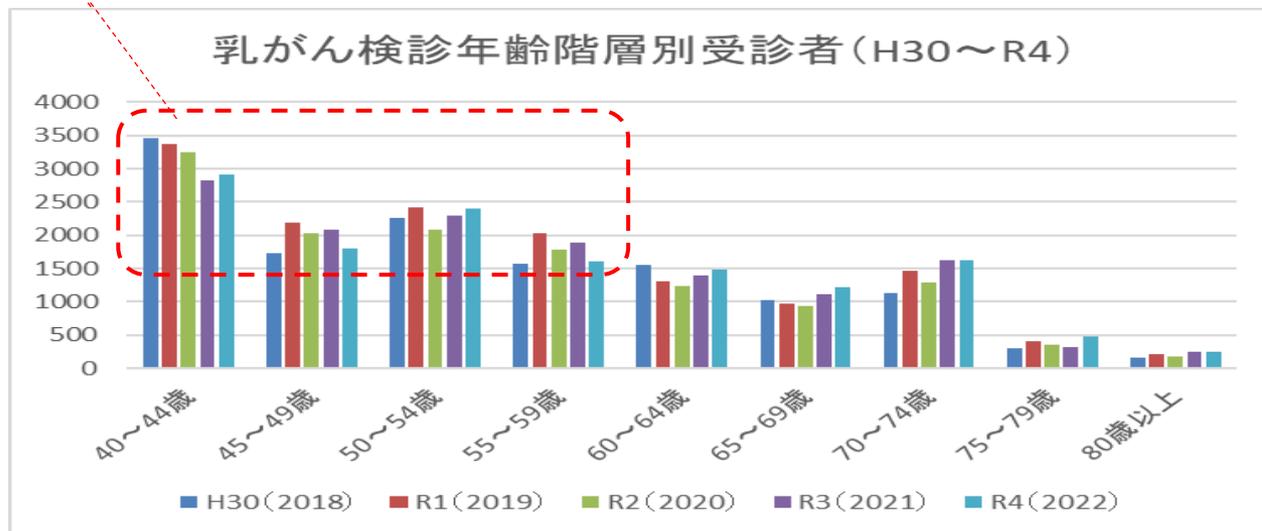
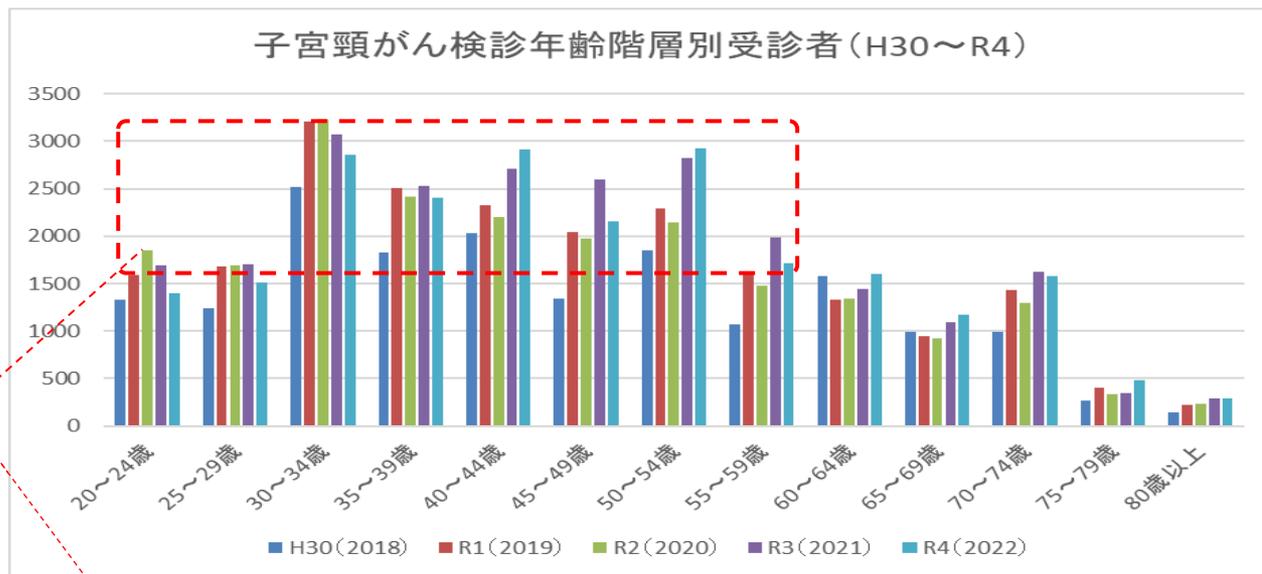
受診までの流れや医療機関一覧を掲載し、面倒な手続なく電話一本で簡単に受診できることを案内

18

# 5 乳がん・子宮頸がん検診について(個別受診勧奨後の状況)

## 5-2 子宮頸がん・乳がん検診年齢階層別受診者数年次比較

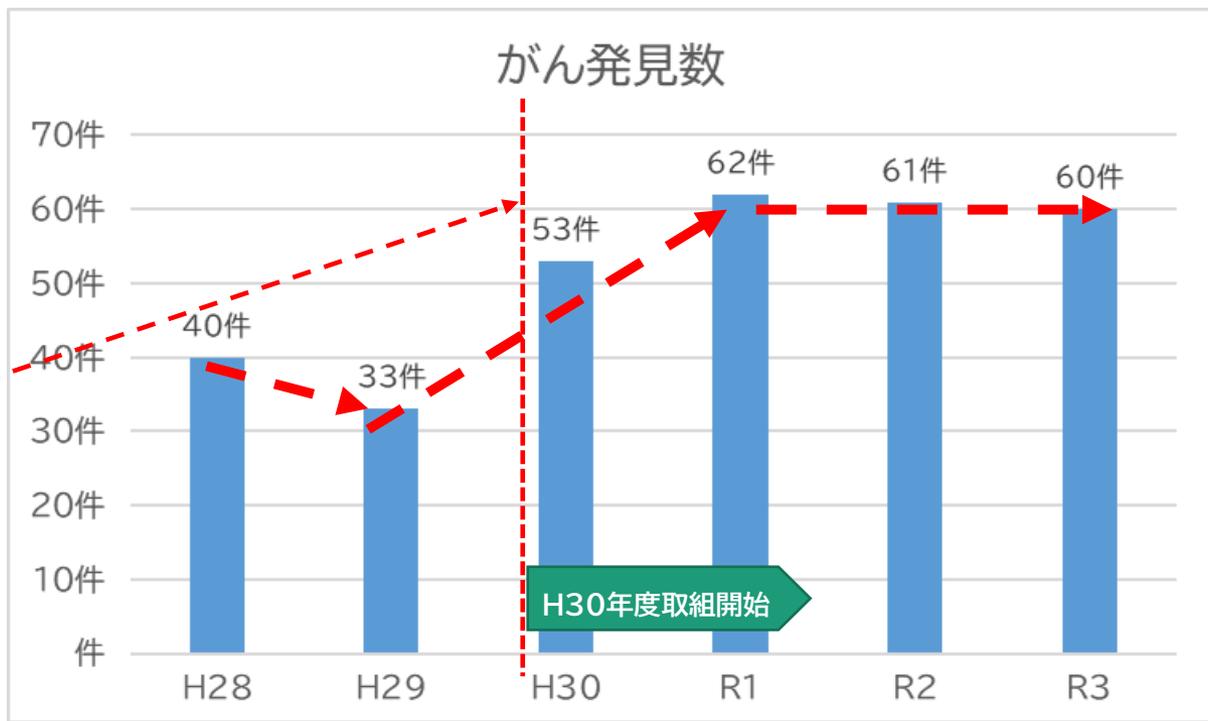
ハイリスク者への個別勧奨を行った対象年齢階層では、受診者数が増加しており、受診勧奨の効果がわかる。



# 5 乳がん・子宮頸がん検診について(個別受診勧奨後の状況)

## 5-3 乳がん検診によるがん発見数推移

個別受診勧奨の実施に伴い、受診率が上昇しているが、受診率と比例し、がん発見数も増加し、R1~R3は横ばいとなっている。



	H28	H29	H30	R1	R2	R3
がん発見数	40件	33件	53件	62件	61件	60件
早期がん発見数	18件	19件	11件	23件	19件	10件
乳がん検診受診者数	9,287人	10,199人	13,282人	14,403人	13,137人	13,783人

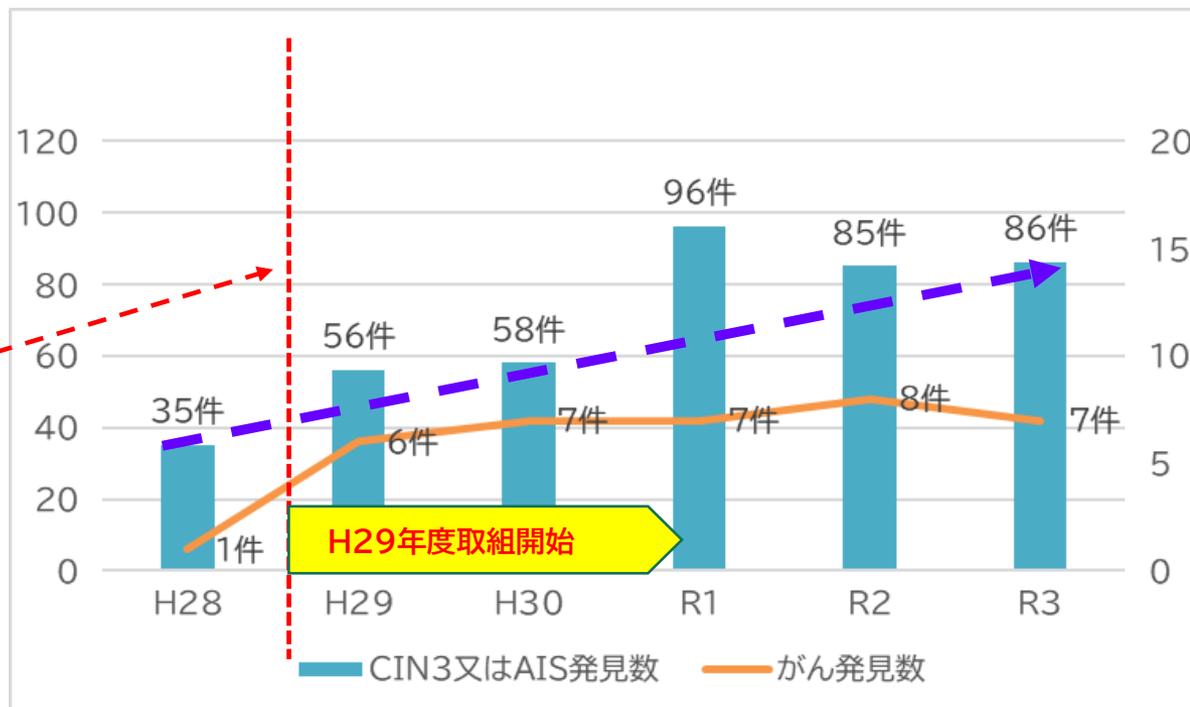
※「早期がん発見数」は「がん発見数」のうち数

出典：地域保健・健康増進事業報告

# 5 乳がん・子宮頸がん検診について(個別受診勧奨後の状況)

## 5-4 子宮頸がん検診によるがん・前がん病変発見数推移

個別受診勧奨の実施に伴い、受診者数が増加傾向にあるが、受診者数増に合わせ、がん発見数、前がん病変も増加傾向にある。



年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
がん発見数	1件	6件	7件	7件	8件	7件
CIN3又はAIS発見数	35件	56件	58件	96件	85件	86件
子宮頸がん検診受診者数	13,095人	17,949人	20,534人	24,275人	24,258人	27,009人

※CIN3・AIS・・・子宮頸がんになる前の状態(前がん病変)。前がん病変の段階で発見し治療することにより、子宮頸がんへの進行を防ぐことができる。

# 5 乳がん・子宮頸がん検診について(がんに特化した取組)

## 5-5 乳がんセルフチェックの普及について

○乳がんは自分で見つけられる可能性のあるがんであり、乳がんの早期発見のためには月に一度のセルフチェック(自己触診)を習慣づけることが大切である。令和3年度から、乳がん検診の受診者には、医療機関においてセルフチェックの動画放映、リーフレットの配布を行い、セルフチェックの啓発を行っている。



**乳がんってどんな病気?**

乳がんは、乳腺(母乳を作り、運ぶ場所)にできるがんです。乳がんにかかる人は年々増加しています。30歳代から増え始め、特に40歳代後半に最も多く発生しますが早期発見できれば高い確率で治ります。

毎月セルフチェックをすることで、小さな変化に気づくことができます。しこりだけではなく、異常があった時には専門医療機関を受診してください。

**BREAST CANCER CHECK!**  
正しいセルフチェックのススメ

乳がんは自分で見つけられる可能性のある稀ながん。2年に1度の乳がん検診とともに、毎月のセルフチェックが大切です。

**乳がんのセルフチェック**

- 月に一度行いましょう
- 生理が終わる頃が良い
- 閉経後は、日にちを決めて

熊本市 健康づくり推進課  
☎096-361-2145

熊本市 がん検診 検索

引用元:中京テレビ「乳がんのこと1歩先へ」  
https://www.ctv.co.jp/susume/

受診者に配布するセルフチェックリーフレット



**乳がんのセルフチェック**

- ✓ 月に一度行いましょう
- ✓ 生理が終わる頃が良い
- ✓ 閉経後は日にちを決めて

セルフチェック法動画(作成・協力:中京テレビ株式会社)



# 5 乳がん・子宮頸がん検診について(がんに特化した取組)

## 5-6 子宮頸がん検診動画について

○子宮頸がんは、20～30歳代女性の罹患率が高いが、初期にはほとんど自覚症状がないため2年ごとの定期的な受診が必要である。中外製薬株式会社と熊本市では、熊本市がん対策企業等連携協定に基づき、子宮頸がんについて専門医の先生方が分かりやすく解説する動画を作成し、市ホームページやLINE等で周知している。

To: 熊本市にお住まいの皆様

子宮頸がんは珍しい病気ではありません。正しい知識をもって予防しましょう。



熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学講座 教授 近藤 英治先生  
熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学講座 助教 今村 裕子先生  
フォーシーズンズレディースクリニック 院長 田畑 愛先生

**デジタル市民公開講座**

**おしえて子宮頸がん検診のコト**

こんなキモンが約10分で解消!

子宮頸がんは、近年若い女性がかかることが多いがんとして問題になっているんです。一方で、早期発見できれば治療しやすいがんとしても知られていて、定期的に検診を受けることが大切です。

- 子宮頸がんはなぜ起こるの？
- 子宮頸がんを予防するためには？
- 子宮頸がん検診では、どんなことをするの？
- 子宮頸がん検診を受けるためには？



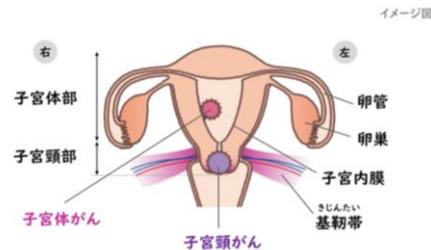
熊本県/熊本市  
デジタル市民公開講座

**「おしえて子宮頸がん検診のコト」**

熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学講座 教授 近藤 英治 先生  
熊本大学大学院生命科学研究部 産科婦人科学講座 助教 今村 裕子 先生  
フォーシーズンズレディースクリニック 院長 田畑 愛 先生



子宮頸がんとは



1) 国立がん研究センター がん情報サービス 子宮頸がん  
[https://ganjoho.jp/public/cancer/cervix\\_uteri/index.html](https://ganjoho.jp/public/cancer/cervix_uteri/index.html) (2023年7月参照)  
2) 公益財団法人 日本産科婦人科学会ホームページ (2023年7月参照)

子宮頸がん検診啓発動画の一部